



医療法人
岩本内科医院

院長 やまぐち たいぞう 山口 泰三 氏



PROFILE

平成元年 産業医科大学医学部卒・医学博士。
産業医科大学病院、北九州市立医療センター、NTT北九州病院、企業産業医(NTT、JT保健部長)を経て岩本内科医院勤務。
平成26年5月より院長就任。
◆日本肝臓学会専門医
◆日本消化器病学会専門医
◆日本内科学会専門医
◆日本内視鏡学会専門医

小倉南区下石田に開業する岩本内科医院。山口院長に、北九州市立大学の学生が若者の視点でインタビューを行いました。

●このページは取材文章作成を学生が手がけています。

前院長から受け継いだ患者様を救いたいという強い意志、 今後も病気の早期発見・早期治療に努めます。

小倉南区に病院を開業された理由について
お聞かせください。

前院長である岩本昭三先生は、駆け出しの研修医の頃から北九州の様々な病院に勤務されてきました。その後、肝臓がん患者様のため、またこの地域への医療貢献のために、25年前、この地に開業したのが始まりです。

前院長から受け継いだ理念や意志について
お聞かせください。

前院長には、自分を犠牲にしてまでも患者様を救いたいという強い意志がありました。前院長は今年の5月に他界されましたが、当院のスタッフ一同、前院長の意志を受け継ぎ、よりよい医療を提供していきます。

岩本内科医院の特徴やアピールポイントは
何だとお考えですか？

当院の大きな特徴としては、2つ挙げられます。

一つ目は、病気の「早期発見・早期治療」です。当院は、一般の診察だけでなく、医院ではありますが、大きな病院並みの検査ができます。設備が整っています。ですので、CTなどの検査により、全ての病気の「早期発見・早期治療」が可能になります。

二つ目は、「小倉南区から世界へ」です。当院は肝臓がん治療に特化しておりますので、肝臓がんを持たれている患者様をぜひとも救いたい。残念ながら、進行した状態でも、当院の特化した治療で病気を治してあげたいと考えています。

特徴の1つである検査について詳しく
教えてください。

当院では、1、2時間ほどの短時間で全身の検査が可能となっております。大きな病院では、検査のために予約が必要であったり、半

日以上かかることもありませんが、当院では、主な採血検査の結果も1時間以内で分かりますし、その結果を待つ間に、超音波検査や、CT検査、胃・大腸カメラ検査を受けることができます。病気の「早期発見・早期治療」という点で、よりすばやく、正確な診断と治療が可能です。

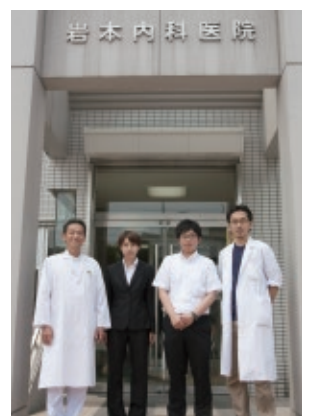
世界的に高い評価を受けていらっしゃる
肝臓癌治療についてお聞かせください。

当院では「門脈動脈同時塞栓療法」という方法で肝臓がんを治療しています。この治療法は、肝臓がん栄養を送る動脈にカテーテルを挿入し、治療薬を送る動脈にカテーテルを挿入し、治療薬を注入するものです。血管造影をしながら、北九州で唯一導入されている「アンギオCT」という機器を用いて行うため、非常に治療効果が高く、優れた結果が得られます。

この治療法は、前院長が開発し、医学界でも権威ある雑誌「Cancer」に治療成績が掲載されました。今後もその技術や意志を引き継いで「門脈動脈同時塞栓療法」を行っていきます。

岩本内科医院として、何か地域貢献活動に取り組んでいらっしゃいますか？

今までの診療に加えて、平成20年からデイサービスや訪問診療を行っております。高齢で介護が必要な患者様にもデイサービスを通じて、自分の健康状態を維持・増進させ、いつまでも健康でいていただきたいと願っております。また、来院の難しい患者様にも、訪問診療を通じて、自宅にいながらにして当院の質の良い医療を提供できるように努めています。



左から山口院長、インタビューアの佐藤さん、吉竹さん、岩本先生。



アンギオCTを使用してオペをする山口院長と岩本先生。
このシステムを使えば、数mm大の肝腫瘍の存在、動脈血流、門脈血流の有無がわかり、質的診断ができます。



上：インタビューに答える山口院長。
下：アンギオCTの説明をする岩本先生。

岩本内科医院としてのこれからの展望や、
願いなどありましたらお聞かせください。

岩本内科医院が「肝臓がん」で苦しんでいる患者様、「北九州市の地域の皆様」にとつて、健康かつ快活な日々を過ごして頂けるためのかけがえのない存在でいられるよう、これからも発展し続けたいと思います。